

胡瓜のビニールトンネル栽培に関する研究

第1報 直播ビニールトンネル栽培の実用性について

横井正治・酒井雄行

(青森県農試)

1. 緒言

青森県の650町の胡瓜栽培は反収約360貫と少収で、これが増収を図るためビニールトンネルを利用し、早期収量並びに総収量の増加を得ようと1953年度より本試験を行った。

今までの試験により温床育苗無被覆より、直播ビニールトンネル栽培が操作が簡単で多収を示すので、普及性も高いものと思われ、第1報として直播ビニールトンネル栽培の実用性について、2～3の成績の概要を報告する。

2. 試験の方法

本試験は何れも青森県農試本場圃場で行い、直播ビニールトンネル栽培区は、播種・覆土後すぐ高さ1～1.2尺、巾約1.8尺の骨組みを作り3尺巾梨地0.1mmのビニ-

ルを被覆小型トンネルとした。温床育苗区は温床育苗苗を定植後無被覆とし、慣行栽培区は直播無被覆である。栽植距離は全区共畦巾2.5尺、株間1.5尺、1区2.5坪、2～6区制とした。

3. 試験結果及び考察

1. 慣行・温床育苗・直播ビニールトンネル栽培の比較

1953年及び1954年の2ヶ年の結果は第1表のようである。品種と播種期・定植期・ビニールの除去等の差はあれ、各区共慣行区より温床育苗区より直播ビニールトンネル区が早期収量並びに総収量が多い。

当地方の温床育苗は気象条件及び低技術により胡瓜の温床育苗が少ないが、直播ビニールトンネル栽培によって、より増収が得られるので実用性が高いものと思われる。

第1表 慣行・温床育苗・直播ビニールトンネル栽培比較

区	項 目	品 種 名	播 種 期	定 植 期	ビニ- ル除去	収 穫 始	反 当 換 算 収 量					収量比
							7月中旬	7月下旬	8月上旬	8月中旬	合 計	
慣 行 温 床 育 苗 直播トンネル		相 模 半 白	5.11	—	—	7.20	2,160	98,040	148,260	—	248,460	100.0
			4.14	6.9	—	7.16	1,800	291,480	182,820	—	476,100	191.6
			4.25	—	6.6	7.10	229,920	906,420	213,600	—	1,349,940	543.3
慣 行 温 床 育 苗 直播トンネル		落合節成3号	5.11	—	—	7.20	12,300	225,780	298,380	—	536,460	100.0
			4.14	6.9	—	7.17	34,560	753,060	240,480	—	1,028,100	191.6
			4.25	—	6.6	7.10	666,480	920,340	277,500	—	1,864,320	347.5
慣 行 温 床 育 苗 直播トンネル		加 賀 節 成	5.9	—	—	7.26	—	181,500	659,940	262,980	1,104,420	100.0
			4.9	5.28	—	7.15	102,900	538,560	609,420	256,080	1,506,960	136.4
			4.20	—	6.1	7.15	143,520	819,480	675,180	221,880	1,860,060	168.4

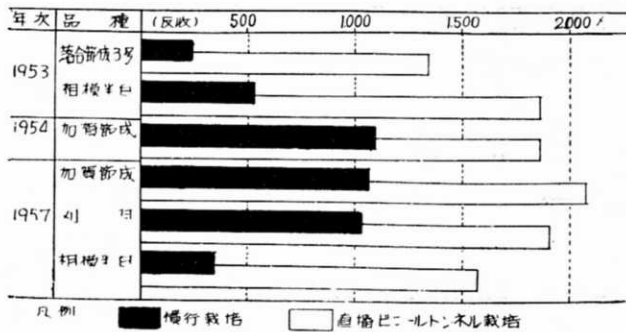
注：相模半白・落合節成3号は1953年度，加賀節成は1954年度，収穫終は1953年8月10日，1954年は8月16日

2. 品種間の差異

当地方の慣行栽培では、短日性品種の収量がごく少なく、日長に鈍感な加賀・刈羽系が多く栽培されている。

しかし播種期の早い直播ビニールトンネル下では、第1図のように短日性のものの増収率が高い。絶対収量では加賀・刈羽に及ばないが、直播ビニールトンネル栽培に

は取り入れるによいと思われる。



第1図 品 種 間 比 較

第2表 播 種 期 の 比 較

播 種 期	反 当 換 算						合 計
	6月中旬	6月下旬	7月上旬	7月中旬	7月下旬	8月上旬	
4月2日	7,824	44,280	585,504	560,208	871,848	213,432	2,283,096
4月12日	—	10,416	269,280	635,832	865,608	206,280	1,987,416
4月22日	—	2,496	379,152	819,120	1,017,672	168,072	2,386,512

註：供試品種は加賀節成

4. 経済調査

経済調査（粗収入－資材費）は第3表のように効果が

明瞭に出ており、胡瓜の直播ビニールトンネル栽培の実用性がある。

第3表 経 済 調 査

年 次	品 種	区	反 当 換 算 収 量	反 当 粗 収 入	反 当 資 材 費 差 引 額	坪 当			比 率
						(イ) 粗収入	(ロ) 資材費	(イ)－(ロ)	
1956	加 賀 節 成	A	2,386,512	100,975	73,375	337	92	245	258
		B	794,952	28,586	28,586	95	—	95	100
1957	加 賀 節 成	A	2,081,940	96,764	69,300	323	92	231	148
		B	1,066,200	47,683	47,683	159	—	159	100
	刈 羽	A	1,889,760	86,966	59,366	290	92	198	131
		B	1,026,000	45,303	45,303	151	—	151	100
	相 模 半 白	A	1,571,460	70,375	42,775	235	92	143	298
		B	357,720	14,375	14,375	48	—	48	100

註：A…直播ビニールトンネル栽培，B…慣行栽培

資材費はビニール0.1mm坪当り360円として5年，その他の資材（竹等）は坪当り60円とし3年供用出来るものとして計算した。

4. む す び

胡瓜の増収法として，直播ビニールトンネル栽培は操作が簡単で増収率も高く，経済効果も大きい。当栽培法

は県で1957年より普及奨励に移したが，管理・品種などについてはまだ問題があり，これらに関して目下研究中である。